

平成29年度 宮城県仙台向山高等学校 「志教育」年間指導計画

「◎」特にあてはまる
「○」あてはまる

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす			
各教科指導目標	国語	○◎	地理歴史	○	公民	○	数学	○	理科	○	保健体育	○	芸術	○	外国語	○	家庭	○	情報	○
	言語文化に対する理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、思考力や創造力を伸ばし、総合的な言語能力を養う。	わが国の歴史及び世界各国の文化・風土を尊重しながら、異文化理解を深め、国際社会に向かって積極的に貢献するような資質を養う。	複雑な現代社会の仕組みを考察し、先哲の考えを取り入れながら、他者を尊重し、主体的に社会に貢献しようとする公民的資質を養う。	数学的活動を通して、個に応じたわかる少人数授業の展開により、基礎・基本の定着と学ぶ意欲の向上を図り、様々な事象を数学的に考察し表現する能力を高め、数学的根拠に基づいて判断する力と問題解決能力を育てる。	自然に対する関心や探究心を高め、科学的に探究する能力と態度を育てることにより、科学と人間生活のかかわりを考察し、環境問題に対応できる能力を育成する。	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康の保持増進を図り、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を育てる。	芸術とのかかわりを深めることで、豊かな情操を養い自らの人生を豊かにする態度を涵養する。	外国の文化や生活様式を理解して、日本の伝統や風土に関する認識を深め、国際社会での自分の役割を考え、これからの生き方を探る。	生涯にわたり発達しつづけるという視点から自らの課題を見出すとともに、生活の充実を図るための実践的な態度を育てる。	コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通し、情報を適切に収集・処理・発信するための知識と技能を習得させ、社会の情報化に対応できる態度を育てる。										
学年共通						かかわる	もどめる	はたす	各学年指導目標											
指導内容	大学で学ぶ意義を十分理解し、目的を持って大学・学部・学科を選び、適性を踏まえた「学び」を模索させる活動		○◎	1年	「自分と出会う」をテーマに、学問研究、オータムセミナー、向陵リサーチなどの活動を通じて、自己の興味関心や適性についての把握を促し、「自分」とは何かを考察させる。															
	発表活動や調べ学習など、コミュニケーション能力や表現力、さらには論理的思考力を養う活動		○◎	2年	「学問と出会う」をテーマに、アカデミックインターンシップや志望理由書の作成などの活動を通じて、大学における学問とは何か、そこで何を学ぶのかを考察させる。															
	社会における役割を認識し、高い自己有用感を有する生徒を育成する活動		◎○	3年	「社会と出会い自分を広げる」をテーマに、サクセスタイムなどの活動を通じて、自分と社会との関わりについて理解を深めさせる。また、将来、自分が社会人としてどのように社会に貢献していくかについて考察させる。															
指導内容			ねらい			指導教科等			実施時期			時数			かかわる	もどめる	はたす			
1年	文理選択と学問		さまざまな学問分野について、グループ形態で調べることで、学問に対する自己の適性についての理解を深める。			総合的な学習の時間			5・6月			5			○	○	○			
	向陵プレリサーチ		社会における諸問題や課題について、自分の興味関心に基づく作業をすることで、社会問題への関心を高める。			総合的な学習の時間			6～8月			3			○	○	○			
	オータムセミナー		向陵プレリサーチで学んだことを踏まえ、社会人による講話と質疑応答を通して、各自が社会において働くことの意義を認識する。			総合的な学習の時間			9・10月			4			○	○	○			
	向陵リサーチ		現代社会の諸課題に目を向けさせ、学問がその解決に向けてどのように役立つのか、また解決の手段としての働くことの意味を考えさせることで、社会と自己とのつながりを意識する。			総合的な学習の時間			11・12月			9			○	○	◎			
2年	社会問題と学問		現代社会の諸課題に対して向けられた興味関心を、関連する学問分野へと焦点化させ、学問の視点から社会研究をする。			総合的な学習の時間			4・5月			4			○	○	○			
	学部学科研究		焦点化された学問内容をさらに詳細に調べ学習をグループ形態で行うことで、進路の具体化を果たす。			総合的な学習の時間			6月			4			○	○	○			
	アカデミックインターンシップ		この活動は、3日程度大学での「日常」の研究活動を体験する活動である。そのことで、大学で学ぶ意義を実感し、学びそのものに対する興味関心をより強いものにする。			総合的な学習の時間			7～11月 3日間			18			◎	○	◎			
	向陵セミナー		大学出前授業に参加し、学問と社会とのつながりを理解し、大学で学ぶことの意義を考える。			総合的な学習の時間			9・10月			4			○	○	○			
	志望理由書の作成		1年生から続く向陵プランの集大成として、大学で学ぶ意義を十分理解し、目的を持って大学・学部・学科を選び、適性を踏まえた「学び」を模索する。			総合的な学習の時間			11～2月			8			◎	◎	◎			
3年	サクセスタイム		興味のある学問分野についての最先端の研究状況やトピックスなどをテーマとして、大学の協力を得ながらグループで課題学習を行うことにより、進路意識およびキャリア意識の発達を促す。			総合的な学習の時間			4～9月			12			○	◎	○			
											合計時数		71							